

◆大阪府立夕陽丘高等学校音楽科◆

創立120周年を迎える夕陽丘高校は創立以来、充実した音楽教育により著名な音楽家を数多く輩出しました。1995年に大阪府立高校では唯一の「音楽科」が設置され、音楽科の生徒たちは、校内にある330名を収容できる音楽ホールや練習室、レッスン室など恵まれた環境の中でピアノ・声楽・管弦打楽器の実技レッスンに加えて、音楽理論やソルフェージュ、和楽器など音楽の専門的な学習に日々取り組んでいます。



ホームページ



Instagram

Profile

演奏者 プロフィール

キンボー・イシイ (指揮者)

ベリリン・コミッジェ・オーパーの首席カペルマイスターを経て、マクデブルク劇場音楽総監督、大阪交響楽団首席客演指揮者、ドイツ・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン州立劇場音楽総監督などを歴任。近年は日本国内でも精力的に活動中。NHK交響楽団との共演をはじめ、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、京都市交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などの主催公演で指揮。また、日本でのオペラ活動としては、びわ湖ホールでのオペラピエンナーレ「フィガロの結婚」、関西二期会「魔弾の射手」がある。12歳で渡欧し、ウィーン市立音楽院にてヴァイオリンをフルター・バリリ、ピアノ

をゲトルッド・クーバセックに師事。その後、ジュリアード音楽院にてヴァイオリンをドロシー・ディレイに学び、1992年に指揮に転向。1993年と1995年のタングルウッド音楽祭に奨学生として参加。指揮を小澤征爾、サイモン・ラトルをはじめとする著名な指揮者に師事。その後、ボストン交響楽団とニューヨーク・フィルの同時契約副指揮者として、小澤征爾氏をはじめ、サイモン・ラトル、ベルナルド・ハイティンク、アンドレ・プレヴィン等各氏のアシスタントを務めた。1995年にはニコライ・マルコ国際指揮者コンクール(デンマーク)で入賞。2010年には「第9回斎藤秀雄メモリアル基金賞」指揮者部門を受賞。



鈴木 愛美 (ピアノ)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を首席で卒業。現在、東京音楽大学大学院修士課程に特別特待奨学生として在学中。2023年、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞他を受賞。同年、第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)他多数受賞。2024年、第12回浜松国際ピアノコンクールにて日本人初となる第1位、および室内楽賞、聴衆賞、札幌市長賞、ワルシャワ市長賞を受賞。これまでに、稲垣千賀子、佐藤美秋、石井理恵、仲田みずほ、橋高昌男、高田匡隆、石井克典の各氏に師事。



椎名 朋美 (フルート)

東京藝術大学音楽学部卒業、同大学大学院修了。大学院アカンサス音楽賞を受賞。第15回びわ湖国際フルートコンクールアドバンス部門 第1位。第64回全日本学生音楽コンクール高校生の部大阪大会第1位。全国大会第2位。第85回日本音楽コンクール入選。第24回京都芸術祭音楽部門 京都毎日新聞社賞受賞。ソリストとして藝大フィルハーモニア、関西フィルハーモニー管弦楽団と共演。第21回京都フランス音楽アカデミー修了。現在、関西フィルハーモニー管弦楽団首席フルート奏者、大阪府立夕陽丘高等学校音楽科非常勤講師。



松原 みなみ (ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学大学院音楽研究科修士課程(独唱)、博士後期課程(独唱)修了。博士号(音楽)を取得。三菱地所賞受賞。ウィーン国立音楽大学オペラ科を審査員満場一致の首席(最優秀)で修了。東京藝術大学声楽科教育研究助手。現任安田クオリティオブライフ文化財団海外音楽研修生。Jan Kiepura国際声楽コンクール R.シュトラウス賞受賞。Ljuba Welitsch 国際声楽コンクール特別賞受賞。第26回コンセル・マロニエ第3位。第91回日本音楽コンクール声楽部門(歌曲)第一位、ならびに木下賞、畑中賞、E.ナカミチ賞受賞。



田中 友輝子 (アルト)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、同大学院歌劇専攻修了。デビューは朝比奈隆指揮「ドン・カルロ」のエボリー姫。『カルメン』『ラ・ジョコンダ』のタイトルロールや『アイダ』のアムネス役他、多くのオペラに出演。『蝶々夫人』のスズキ役は日本の他、イタリアのブッチェニフェスティバルにも出演。第九やオラトリオのアルトソロとしても出演。NHK新人演奏会出演。なにわ芸術祭新人奨励賞受賞。大阪市立精華小学校、南中学校、大阪府立清水谷高校卒業。現在、大阪府立夕陽丘高校音楽科非常勤講師、関西歌劇団正団員、堺シティオペラ理事。



松原 友 (テノール)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科第一期生を経て、東京藝術大学卒業、同大学院修了。ロームミュージックファンデーション奨学生としてミンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学卒業。第51回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位。第14回松方音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。東京藝術大学、京都市立芸術大学、大阪教育大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、夕陽丘高校、相愛高校各非常勤講師。東京二期会会員。東京混声合唱団特別団員。



高崎 翔平 (バス)

大阪府立夕陽丘高校音楽科卒業。大阪教育大学及び東京藝術大学卒業。同大学院音楽研究科修了。二期会オペラ研究所第61期マスタークラス修了。修了時に優秀賞を受賞。二期会新進声楽家のタペに出演。『フィガロの結婚』フィガロ、『魔笛』ザラスト、他多数のオペラに出演している。2019年「サロメ」兵士1役で二期会にデビュー。その後二期会公演には2021年「サムソンとデリラ」(セルセ)、『魔笛』、2023年「平和の日」(日本初演)に出演している。現在、東京藝術大学演奏研究員、麻布学園非常勤講師。二期会会員。



後藤 ゆり子 (打楽器)

大阪府立夕陽丘高校音楽科講師を長年勤め、多くの生徒たちへの演奏指導を行ってきた。3歳からピアノ、5歳からマリンバを始め、作曲にも興味を持つ。打楽器の持つ魅力を伝えたいとマリンバと打楽器のための作品を主に作曲。またジャンルを超えて様々なコラボレーションで演奏。2007年、NHK-FM「名曲リサイタル」に出演。同志社女子大学音楽科打楽器専攻卒業。同大学音楽学会「領啓会」特別専修課程修了。在学中第10回日本管打楽器コンクールにて第3位受賞。現在相愛学園音楽科、城南短期大学、白鳳短期大学、慈光保育園非常勤講師。



吉田 周平 (打楽器)

相愛大学音楽学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学音楽専攻科修了。同大学卒業演奏会、修了演奏会に出演。関西打楽器協会主催新人演奏会に出演。第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会大学男子の部最高位。第16回イタリア国際打楽器コンクールティンパニ部門第3位。2015年度小澤征爾音楽塾メンバーとして第1回セシオサフ松本フェスティバルに参加。元コンセルトヘボウ管ティンパニ奏者、マリナス・コムスト氏ならびに、フライブルク音楽大学教授、ベルン・ハルト・ワグネルのマスタークラスを受講。大阪府立夕陽丘高等学校、相愛高等学校非常勤講師。大阪フィルハーモニー交響楽団打楽器奏者。



奥本 雅子 (打楽器)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科卒業。同志社女子大学学芸学部音楽学科演奏専攻打楽器コース卒業。同大学音楽学会「領啓会」特別専修課程修了。関西打楽器協会主催第21回関西打楽器新人演奏会にて第1位パール賞受賞。ホール公演をはじめ、学校や幼稚園、社会福祉施設など幅広く演奏活動をしている。また、自宅で「makorimbaマリンバ音楽教室」を開講し、後進の指導にも力を入れている。永野成計、後藤ゆり子、細田真平、中谷満、山口共範の各氏に師事。大阪府立河南高等学校音楽科非常勤講師。



和中 まき (打楽器)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科、大阪教育大学で打楽器を専攻。卒業演奏会に出演。第30回関西打楽器協会新人演奏会にて第1位ヤマハ賞受賞。第31回日本打楽器協会新人演奏会に出演。Osaka Shion Wind Orchestraやブルガリア国立ソフィアフィルハーモニー管弦楽団などとマリンバコンチェルトを共演。マリンバデュオperc perとしても活動。富田林市立喜志中学校音楽科非常勤講師。小谷康夫、中谷満、後藤ゆり子の各氏に師事。



清川 大地 (打楽器)

大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コースを卒業。その後、同大学院修士課程を修了。現在、プロオーケストラや吹奏楽団等への客演を中心に、フリーランスの打楽器奏者として活動中。ドラムスやラテン・パーカッションから、コンサート・パーカッション、鍵盤打楽器に至るまで、様々な打楽器を自在に操るユーティリティプレイヤーを目標に掲げ、独奏分野においても、ソロリサイタルを開催するなど、精力的に活動を展開している。大阪市、堺市活動指導員。ハシオール・ユース・ウィンド・オーケストラ講師。



※表面の30周年のロゴマークは、夕陽丘高校の生徒が考えデザインしたものです。